平成25年９月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成25年２月６日

上 場 会 社 名	株式会社コロプラ	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	3668	URL	http://colopl.co.jp
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)馬場　功淳	
問合せ先責任者	(役職名)取締役管理部長	(氏名)土屋　雅彦	(TEL)03(6721)7770
四半期報告書提出予定日	平成25年２月13日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有（機関投資家・証券アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成25年９月期第１四半期の業績（平成24年10月１日～平成24年12月31日）

（１）経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年９月期第１四半期	2,755	―	864	―	876	―	498	―
24年９月期第１四半期	―	―	―	―	―	―	―	―

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
25年９月期第１四半期	68.59	67.69
24年９月期第１四半期	―	―

（注）１．当社は第１四半期の業績開示を平成25年９月期より行っているため、平成24年９月期第１四半期の記載及び平成25年９月期第１四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
２．当社は平成24年12月13日に東京証券取引所マザーズに上場したため、平成25年９月期第１四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益は、新規上場日から平成25年９月期第１四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

（２）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年９月期第１四半期	7,057	5,218	73.9
24年９月期	4,567	2,567	56.2

（参考）　自己資本　　25年９月期第１四半期　5,218百万円　　24年９月期　2,567百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
24年９月期	―	0.00	―	0.00	0.00
25年９月期	―				
25年９月期(予想)		―	―	―	―

（注）　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成25年９月期の業績予想（平成24年10月１日～平成25年９月30日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	9,992	97.0	2,318	54.7	2,291	52.8	1,260	61.9	162.90

（注）　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（注）詳細は、添付資料P. ４「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　有

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（注）第１四半期会計期間より減価償却の方法を変更しており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料P. ４「２．サマリー情報（注記事項）に関する事項（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

（３）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年９月期１Ｑ	7,892,100株	24年９月期	7,112,100株
②　期末自己株式数	25年９月期１Ｑ	―株	24年９月期	―株
③　期中平均株式数（四半期累計）	25年９月期１Ｑ	7,273,187株	24年９月期１Ｑ	―株

（注）当社は第１四半期の業績開示を平成25年９月期より行っているため、平成24年９月期第１四半期の期中平均株式数を記載しておりません。

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想値及び将来の見通しに関する記述・言明は、弊社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営や内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、弊社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）財政状態に関する定性的情報 ……2
（３）業績予想に関する定性的情報 ……3
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……4
（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……4
（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……4
３．四半期財務諸表 ……5
（１）四半期貸借対照表 ……5
（２）四半期損益計算書 ……6
（３）継続企業の前提に関する注記 ……7
（４）セグメント情報等 ……7
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期累計期間における我が国経済は、東日本大震災の復興需要等から国内需要が堅調に推移し緩やかに持ち直しつつありますが、諸外国における金融財政危機による世界的な景気下振れのリスクや国内景気の減速懸念など、依然として不安定な状況が続いております。

このような状況の中で、当社が属する携帯端末ゲーム業界では消費者にスマートフォンが一層普及し、多くの企業がスマートフォン向けアプリ開発に注力しております。

当社におきましても、着実にゲームアプリを開発・リリースし続けております。スマートフォン専用のライトゲームアプリブランドである「Kuma the Bear（クマ・ザ・ベア）」からは平成24年10月に「ソリティにゃスイーパー！」「弾幕バラッド！」、11月に「リズムコイン２レボリューション！」、12月に「トレインシティ！」を相次いでリリースいたしました。スマートフォン専用オンラインアプリとしては12月に「Disney Magician Chronicles（ディズニー マジシャン・クロニクル）」をリリースいたしました。位置情報ゲームプラットフォーム「コロプラ」からは、10月に「釣りロマンを求めて presents 釣りドキ♪」など計２タイトルをリリースいたしました。いずれも高度な技術処理やゲーム内容がユーザーから高評価を得ております。

以上の結果、当第１四半期累計期間の売上高は2,755,106千円、営業利益は864,780千円、経常利益は876,464千円、四半期純利益は498,883千円となりました。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント毎の記載はしておりません。

（２）財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第１四半期会計期間末における流動資産は6,474,780千円となり、前事業年度末に比べ2,489,993千円増加いたしました。これは主に、現金及び預金の増加（前事業年度末比2,019,567千円増）、売掛金の増加（前事業年度末比434,332千円増）によるものであります。

また、固定資産は582,825千円となり、前事業年度末に比べ306千円増加いたしました。

以上の結果、総資産は7,057,605千円となり、前事業年度末に比べ2,490,300千円増加いたしました。

（負債）

当第１四半期会計期間末における流動負債は1,761,859千円となり、前事業年度末に比べ161,671千円減少いたしました。これは主に、第４期確定納付に伴う未払法人税等の減少（前事業年度末比352,211千円減）によるものであります。

また、固定負債は76,999千円となり、前事業年度末に比べ287千円増加いたしました。

以上の結果、負債合計は1,838,858千円となり、前事業年度末に比べ161,383千円減少いたしました。

（純資産）

当第１四半期会計期間末における純資産は5,218,747千円となり、前事業年度末に比べ2,651,683千円増加いたしました。これは主に、新規上場のための公募発行増資を実施したことに伴う資本金の増

加（前事業年度比1,076,400千円増）及び資本剰余金の増加（前事業年度末比1,076,400千円増）、四半期純利益計上に伴う利益剰余金の増加（前事業年度末比498,883千円増）によるものであります。

（３）業績予想に関する定性的情報

スマートフォンの普及は今後も拡大を続け、スマートフォン向けアプリケーションの需要も拡大していくものと見込んでおります。

平成25年９月期につきましても、引き続き、高品質なスマートフォン向けゲームアプリの開発に注力してまいります。また、安定的かつ高品質なサービスを効率的に提供するため、エンジニアの積極採用に伴う採用費や人件費、広告宣伝費、サーバ関連費用等の増額を見込んでおります。

以上を踏まえ、平成25年９月期における通期の業績予想は、売上高9,992百万円（前年同期比97.0％増）、営業利益2,318百万円（前年同期比54.7％増）、経常利益2,291百万円（前年同期比52.8％増）、当期純利益1,260百万円（前年同期比61.9％増）を見込んでおります。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第１四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（２）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期会計期間より、平成24年10月１日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第１四半期累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３【四半期財務諸表】

(1)【四半期貸借対照表】

（単位：千円）

	前事業年度 （平成24年９月30日）	当第１四半期会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,448,070	4,467,638
売掛金	1,362,361	1,796,693
たな卸資産	6,044	5,235
その他	170,705	207,889
貸倒引当金	△2,395	△2,677
流動資産合計	3,984,786	6,474,780
固定資産		
有形固定資産	200,891	191,925
無形固定資産	12,148	13,329
投資その他の資産	369,478	377,570
固定資産合計	582,519	582,825
資産合計	4,567,305	7,057,605
負債の部		
流動負債		
未払金	998,049	1,072,853
未払法人税等	730,321	378,110
賞与引当金	－	43,502
その他	195,159	267,392
流動負債合計	1,923,530	1,761,859
固定負債		
資産除去債務	76,711	76,999
固定負債合計	76,711	76,999
負債合計	2,000,242	1,838,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	506,379	1,582,779
資本剰余金	503,180	1,579,580
利益剰余金	1,557,503	2,056,387
株主資本合計	2,567,063	5,218,746
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	－	0
評価・換算差額等合計	－	0
純資産合計	2,567,063	5,218,747
負債純資産合計	4,567,305	7,057,605

(2)【四半期損益計算書】
【第１四半期累計期間】

（単位：千円）

	当第１四半期累計期間 （自 平成24年10月１日 至 平成24年12月31日）
売上高	2,755,106
売上原価	1,380,369
売上総利益	1,374,736
販売費及び一般管理費	509,955
営業利益	864,780
営業外収益	
受取利息	433
為替差益	26,576
雑収入	16
営業外収益合計	27,026
営業外費用	
株式交付費	13,343
雑損失	2,000
営業外費用合計	15,343
経常利益	876,464
税引前四半期純利益	876,464
法人税等	377,580
四半期純利益	498,883

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報等

当社は、モバイルサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年12月13日付で東京証券取引所マザーズに上場し、公募増資による払込を受け、新株式780,000株の発行を行いました。

その結果、当第１四半期会計期間において資本金及び資本剰余金がそれぞれ1,076,400千円増加し、当第１四半期会計期間末において資本金が1,582,779千円、資本剰余金が1,579,580千円となっております。